

## 「感謝状」の贈呈にあたって

日頃のご活躍に敬意を表します。また、国鉄闘争の解決にご協力をいただき誠にありがとうございました。

思い起こしますと、1987年4月、国鉄の「分割・民営化」により、不当に差別され多くの国鉄労働者が、JRに不採用となりました。

以来、「団結権の侵害を許さない」「不当労働行為を許さない」「国鉄労働者の雇用と人権を守れ」として、国労は、全組合員と共に総力を挙げてJR不採用問題の解決に向けて闘って参りました。

また、皆様方をはじめ、多くの労働組合・団体・個人など、支援の仲間のご尽力により、2010年4月、国鉄改革に伴う1047名のJR不採用問題について、政府から解決案が示されました。

国労は、政府の解決案を受け入れることを表明し、今年の6月には、最高裁判所第三小法廷裁判官立会いのもと、鉄道・運輸機構との間で、裁判上の一括和解が成立しました。

JR不採用問題を政治の俎上に押し上げるために、本問題の解決に昼夜を分かたずご尽力をいただいた全ての皆様方に心から深く厚く御礼を申し上げます。

今回このような経過を踏まえ、JR不採用問題の政治解決を受けて、「感謝状」を作成致しましたので、贈呈させていただきます。

引き続き残されている「政治合意」で確認された「雇用の確保」について、ご協力を賜りたいと存じます。

改めて、23年余という長期にわたるご支援・ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げ、最後に皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げお礼にかえさせていただきます。

本当にありがとうございました。

2010年11月

国鉄労働組合  
中央執行委員長 高橋 伸二

